コンクール

第72回青少年読書感想文全国コンクール応募要項

読むこと、書くこと、自分を知ること。

第72回 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社　後援／文部科学省・こども家庭庁　協賛／サントリーホールディングス株式会社

主催	公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社
後援	文部科学省・こども家庭庁
協賛	サントリーホールディングス株式会社
趣旨	● 子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。 ● より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。
対象図書	1. 課題読書 主催者の指定した図書(課題図書)。別掲 のとおりです。同一部内における学年指定はありません。 2. 自由読書 自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。 ＊教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。 ＊点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、音訳・点訳したものの情報を添えてご応募ください。
応募資格および区分	応募者の年齢は満20歳まで（2006年4月2日以降に出生の者）とします。応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。 1. 小学校低学年の部（1、2年生）　課題読書　自由読書 2. 小学校中学年の部（3、4年生）　課題読書　自由読書 3. 小学校高学年の部（5、6年生）　課題読書　自由読書 4. 中学校の部　課題読書　自由読書 5. 高等学校の部　課題読書　自由読書 ＊特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。
用紙・字数	1. 原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。 2. 文字数については下記のとおりです。 小学校低学年の部（1、2年生）本文　800字以内 小学校中学年の部（3、4年生）本文1,200字以内 小学校高学年の部（5、6年生）本文1,200字以内 中学校の部 本文2,000字以内 高等学校の部 本文2,000字以内 3. 句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。 4. 題名、学校名、氏名は字数に数えません。
応募作品	1. 日本語で書かれた作品に限ります。 2. 課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。 3. 個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。 4. 盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。 5. 入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。
作品提出	1. 本コンクールは学校を通してご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。 2. 作品は自筆のものを提出してください（コピー不可。デジタル機器使用不可。ただし、自筆が不可能でデジタル機器を使用する、または代筆となるなどの場合は理由を添えてご応募ください）。 3. 応募票に必要事項をご記入ください。記入もれや、誤った情報をご記入いただきますと、審査ができない場合がありますので、正確にご記入ください。 4. ご記入いただいた応募票は、作品の一番上に貼付して、右肩をとじてください。
応募締め切り	※第72回のコンクール公式サイトは５月上旬の公開を予定しております。 締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクールWebサイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。
作品と氏名等の使用・公表	※ご了承のうえ、ご応募ください。 1. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。 2. 入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物やWebサイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。 3. 上記公表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがあります。
審査	1. 応募作品の審査は、都道府県審査を経て、中央審査会へと段階的に行われます。 2. 都道府県審査会において各部ごとに優秀作品を選び、各部課題読書1編、自由読書1編を中央審査会に送付します。 3. 中央審査会は東京において、小・中・高等学校関係者および学識経験者（甲斐雄一郎・文教大学教授、川北亮司・児童文学作家はか、以上予定）などで構成する委員会で行います。 4. 海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設在籍者の作品は、全国学校図書館協議会で受け付けます。（現地校のみの在籍者の応募は受け付けません。）この締め切りは2026年9月30日(水)まで（全国学校図書館協議会必着）とします。
入賞発表	在籍校を通じ、本人あてに通知します。同時に、2027年2月『毎日新聞』、『毎日小学生新聞』、『学校図書館』および『学校図書館速報版』紙上で発表します。
表彰	本人には個人賞を、在籍校には学校賞を贈呈します。 ● 個人賞 ◎内閣総理大臣賞（最優秀作品） 課題読書、自由読書を通じて各部１編。賞状およびブロンズ像。 ◎文部科学大臣賞（優秀作品） 課題読書、自由読書を通じて各部１編。賞状およびトロフィー。 ◎毎日新聞社賞（優秀作品） 課題読書、自由読書を通じて各部５編。賞状およびトロフィー。 ◎全国学校図書館協議会長賞（優良作品） 課題読書、自由読書を通じて各部６編。賞状およびトロフィー。 ◎サントリー奨励賞（奨励作品） 課題読書、自由読書を通じて各部１０編以内。賞状および盾。 ◎入選賞（入選作品） 上記の最優秀、優秀、優良、奨励作品を除く都道府県代表として認められた作品。賞状およびオリジナル図書カード。 ● 学校賞 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞を受賞した児童生徒の在籍校へ、賞状、トロフィーおよびサントリー学校賞。
入賞・入選作品の著作権・公表	1. 入賞・入選作品の著作権は、賞の確定と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。 2. 最優秀作品、優秀作品、優良作品、奨励作品は入賞作品集『考える読書』（毎日新聞出版刊行）に掲載されます。
表彰式	2027年2月中旬、最優秀・優秀・優良作品の入賞者本人と在籍校の学校代表および奨励作品・入選作品の代表者を招待して、東京で表彰式を行います。 ＊国外在住の入賞者については旅費の一部を負担します。
その他	● 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞の受賞者が希望した場合、受賞証明書を発行します（送料実費）。詳細は入賞発表通知であらためお知らせします。 ● 都道府県によっては、本応募要項の他に規定を設けている場合があります（原稿用紙の使い方、提出方法など）。詳細は在籍校にご確認ください。 ● 締め切りは都道府県によって異なります。締め切り日についても在籍校にお問い合わせください。 ● 児童生徒は在籍校に提出してください。

青少年読書感想文全国コンクール

青少年読書感想文全国コンクール →
読書感想文の指導に役立つ資料 →
課題図書選定基準 →
第72回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 →
第72回青少年読書感想文全国コンクール応募要項 →

公益社団法人 全国学校図書館協議会
問い合わせ先・アクセス
〒113-0034
東京都文京区湯島3丁目17－1　湯島大同ビル
TEL：03-6284-3722（代）
FAX：03-6284-3725

当ホームページ掲載の記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。
Copyright 2024 全国学校図書館協議会